



鹿屋から発する 平和のメッセージ



8月10日、リナシティかのやで「平和の花束2023」が開催されました。これは、児童生徒から平和や人権について考えるメッセージを募集するもので、国内外から過去最多の6,129点の応募がありました。当日は入賞した児童生徒の表彰・朗読のほか、10周年記念として台湾部門で最優秀賞となった生徒の朗読映像も上映。最後には、作家の多胡吉郎氏による講演会が行われました。

住民で助け合い 買い物支援



8月3日、高須町民会館で「ドライブサロンプラス事業開始式」が行われました。この事業は鹿屋市社会福祉協議会が車両を貸し出し、住民をスーパーマーケット等へ送迎するもので、運転は安全運転講習会を受講した地域の運転ボランティアが行い、買い物等に困っている住民を支援します。上原義史高須町内会長は「皆様のご協力のもと、この事業が成功するように願っている」とあいさつしました。

マウンテンバイクで 森の中を走り抜ける



8月13日、霧島ヶ丘公園で「かのやマウンテンバイクズfes.2023」が行われました。毎年、公園内のマウンテンバイクパークで行われているイベントで、今回は延べ59人が出走。競技は耐久レースで行われ、60分と120分のほか小学生を対象としたキッズアタックも実施。参加者は、森の中に設けられたアップダウンの激しいコースに奮闘しながらも激走を繰り返していました。

劇団四季鹿屋公演 大盛況のうちに終幕



8月12日、市文化会館で「劇団四季ファミリーミュージカル」が公演されました。演目「ジョン万次郎の夢」は、アメリカに渡った土佐の漁村出身である万次郎が、鎖国中の日本の扉を開くために奔走する物語。これは、文化事業の充実を目的に市が行ったもので、市の自主文化事業に同劇団が公演するのは初めて。当日は895人が来場し、日本を代表する劇団の演技や音楽を楽しみました。



元気よく一致団結して 全国の舞台へ

8月16日、^{ひばしドリーム} 樋渡Dream Girlsと関係者が市役所を訪れました。同チームは「第45回全国中学校ソフトボール大会」への出場を報告。白川詩乃キャプテンは「このチームで勝利して、一つでも多く試合をしたい」と語りました。



お盆の帰省に合わせ 空き家相談会

8月13日、市役所で「空き家相談会」が行われました。この相談会は空き家の活用や相続・解体などの相談を、ワンストップでできるよう専門家を招いて実施。41件の相談を受け「空き家の悩み解消につながった」等の声が寄せられました。



マレーシアの地で 国際交流を

8月4日、県青少年国際協力体験事業でマレーシアに派遣された鹿屋高校の朝田真央さん(2年生)と久保田紗那さん(1年生)が市役所を訪れ、帰国報告を行いました。この事業は、国際性豊かな人材育成を目的に行われたものです。